

科目名	中国語2			ナンバリング	FLP541	授業形態	演習
対象学年	2	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	吉田健一	担当教員					

授業の概要	実用に耐える中国語の語学力の基礎を身につけ、正確な発音を心がけながら、さまざまな場面における中国語会話のパターンや中国語による文章の書き方の基本、それに必要な知識や知恵を学ぶことを目的とする。中国語によるコミュニケーション能力を高めるため、教科書に示された発音や文型を繰り返し練習するほか、変わりゆく中国語及び変わらざる中国語の背景を解説するとともに、中国語世界の変動に目を向けながら授業を進める。						
到達目標	1 中国語のやや複雑な文の構成を正確に理解することができる。 2 基礎的な日常会話レベルの中国語会話ができる。 3 中国語による簡単な通信文の読み書きができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	どのレベルにおいても中国語の声調、発音が大事なので、繰り返し練習すること。講義の中で示されるやや複雑な文型を理解するだけでなく、説明できるようにする。書ける簡体字の数を増やす。日本を訪問した中国語系の人々に対して日本の文化をきちんと説明することができるようにすることも大切である。						
ディプロマポリシーとの関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①第3声が続いた場合の声調変化を聴き取ることができ、かつ声に出して言うことができる。 ②「不」「一」の声調変化を聴き取り、かつ声に出して言うことができる。 ③補語の違いを理解し、説明することができる。 ④代表的な助動詞の使い方を理解し、説明することができる。 ⑤簡単な日常会話レベルの中国語ができる。 ⑥簡単な通信文の読み書きができる。	①中国語系の人が聴いても自然に感じられる発音ができる。 ②自己紹介、家族の紹介、大学の紹介、いわき市の紹介を流暢に行うことができる。 ③初歩的な文法事項をすべて理解し、説明することができる。 ④中国語の新聞を見て大意を理解することができる。 ⑤中国語辞典を完璧に利用することができる。 ⑥簡単な内容であれば電話での話し合いができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○						60%
小テスト・授業内レポート	○						20%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加					○		20%

課題、評価のフィードバック	1 期末試験の解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるように準備しておく。 2 小テストとして実施する教科書内の練習問題及びドリルの解答は授業の中で解説する。 3 発音、文型の理解、作文力などを授業のたびにチェックする。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	発音の復習、動詞の「在」及び「是…的」構文	声調、単母音、複母音、有気音・無気音、そり舌音の復習を行う。所在を表す動詞の「在」及び強調表現の「是…的」構文について説明し、練習する。教科書の中の練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p10～p21 教科書p94～p96
	第2回	発音の復習、進行の表し方、方位詞	鼻音を伴う母音、様々な声調が連続した場合の声調の変化、軽声などを復習する。「…しているところだ」という進行の表し方及び方位詞について説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p22～p30 教科書p97～p99
	第3回	主述述語文、助動詞「能」の使い方	主語述語文の述語の部分がさらに主語と述語に分かれている主述述語文及び「…できる」の意味を持つ助動詞「能」について説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p100～p102
	第4回	結果補語	動作の結果までを含めた言い方である結果補語を用いた表現について説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p103～p105
	第5回	助動詞「会」の使い方、二重目的語を取る動詞	「(習得した結果)できる」の意味を持つ助動詞「会」及び「教AB」(AにBを教える)の「教」のように二重目的語を取る動詞の使い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p106～p108
	第6回	様態補語	動詞や形容詞の後に置かれ、その様態や程度、結果を表す様態補語について説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p109～p111
	第7回	方向補語、動詞の重ね型	動きの方向を示す方向補語と「ちょっと…する」の意を表す動詞の重ね型について説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p112～p115
	第8回	助動詞「可以」の使い方	「…してよい」の意味を持つ助動詞「可以」の使い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p115～p117
	第9回	疑問詞の不定用法、仮定の表現	疑問詞が不定の意味を表す言い方及び仮定の表現を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p120～p122
	第10回	助動詞「得」の使い方	「…ねばならない」の意味を持つ助動詞「得」の使い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p123～p125
	第11回	可能補語	動詞と補語の間に「得」または「不」を入れることによってできる可能補語の作り方及び使い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p126～p128
	第12回	「把」構文、お金の言い方	どのように処置を加えたかに焦点を置く「把」構文について説明し、練習する。お金の言い方を練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p128～p131
	第13回	選択疑問文、形容詞の重ね型	「AですかそれともBですか」という選択疑問文の作り方及び形容詞の重ね型の使い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p132～p134
	第14回	使役の言い方	「…に…させる」という使役の言い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p135～p137
	第15回	「就要…了」、受け身表現及び禁止評言	「もうすぐ…する」の意味を持つ「就要…了」の使い方を説明し、練習する。併せて、受け身及び禁止の言い方を説明し、練習する。練習問題及びドリルを各自解く。	教科書p138～p143
	試験	全講義終了後に期末試験(筆記試験)を実施する。講義において説明したこと、練習問題及びドリルの中から出題する。		
授業の進め方		教科書を基に、読み方や文法事項及び文化的背景を説明したあと、練習を行う。また、小テストとして教科書各課の終わりにある練習問題やドリルを参加者に解いてもらい、正解を示す。		
授業外学習の指示		次回学習する部分について、教科書を一通り読んでおくこと。また、授業後は習ったことを毎日少しずつ復習する。毎日最低1度、教科書付属のCDを聴き、声に出して読むことが望ましい。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	『初級テキスト 日中いぶこみ広場』相原茂・陳淑梅・飯田敦子 朝日出版社 2,700円 ISBN978-4-255-45193-0
参考書	必要に応じてプリントを配付する。
参考URLなど	なし
その他	「中国語2」を履修する予定の場合は「中国語1」を履修しておくことが望ましい。